

子供たちとのふれあい バレーボール教室開催

JTサンダーズは今年も6月から7月中旬にかけて「バレーボールを通じた地域貢献」の一環として、広島県内を中心にバレーボール教室を開催した。小澤翔選手、塚崎祐平選手、深津旭弘選手、吉岡光大選手、久原大輝選手、徳本幸人コーチ、寺西真マネージャーの7人が参加し、子供たちは選手の国内トップレベルのバレーボールの技術を間近で見て学べるとても貴重な体験をすることができた。比治山小学校だけでなく皆実小学校、石内小学校、古市小学校、舟入小学校などでも同様のバレーボール教室が開催されたくさんの子供がバレーボールを体験することができた。



参加した選手と生徒の集合写真

またJTサンダーズは6月28日に東日本大震災復興支援の一環としてバレーボール教室を開催しており、イベントには多くの選手が参加し、参加者への実技指導やサイン会、写真撮影会を行った。この活動は今年の5月から活動しており岩手県、宮城県、福島県の地域社会の復興・再生・活性化を目的として行われている。このイベントを通じて少しでも早く復興につながることを願うばかりだ。このように東日本大震災復興支援「JT応援プロジェクト」を含めバレーボール教室を30回以上開催し、参加者数は約3000人に上っている。



決勝トーナメント敗退 シードチームの牙城崩せず

7月2日(水)～7月6日(日)、高松市総合体育館において実業団日本一を決める国内最高峰の男女別団体戦である厚生労働大臣杯第64回全日本実業団バドミントン選手権大会が開催された。今大会女子は全38チームが参加し、30チームが8グループに分かれ戦い、各グループ1位のチームとシード組8チームを合わせた16チームが決勝トーナメントに駒を進める。広島ガスは第4グループで群馬選抜(群馬県)、JR東海(東京都)、香川県庁(香川県)と対戦し、すべてストレート勝ちし見事1位で決勝トーナメント進出を果たした。

決勝トーナメント1回戦は第4シードのNTT東日本(東京都)と対戦。第一ダブルス、小池・桜井ペアは健闘するも0-2で樽野・新玉ペアに敗れてしまう。つづいて第二ダブルス、平井・亀田ペアは矢野・西山ペアを2-0で下し、次に繋いだ。つづく第一シングルス、第二シングルスともに敗れてしまい1-3で無念の初戦敗退となった。今大会、シードチームの牙城を崩すことはできなかったが、8月15日(金)～17日(日)に島根県で行われる、国民体育大会中国ブロック大会での活躍に期待したい。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



サンフレッチェ広島
FW 22 皆川佑介

生年月日	1991/10/9
身長	186cm
血液型	B型
出身地	東京都

担当者からのコメント

出場2戦目で早くもゴールを挙げた、期待のルーキー。
高さを生かしたプレーは、サンフレッチェの新しい武器だ。



次週への糧に・・・

7月19日(土)、20日(日)に香川県高松市で、第68回西日本ソフトテニス選手権大会が行われた。この大会では女子145エントリー、男子245エントリーがあり、NTTでは女子が5ペア、男子が4ペア出場し猛暑の中での激戦が繰り広げられた。残念ながら、女子は中野・小林ペアの3位、男子は堀・中本ペアと村上・原ペアのベスト8が最高で大会を終えた。

この悔しさをバネに次週7月26日(土)、27日(日)に行われる全日本実業団選手権大会でのアベック優勝を期待している。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



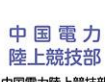
広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



Red Sparks



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス

コカ・コーラウエスト 2年ぶり3度目の優勝!

7/18(金)~23(水)、和歌山県日高町で第36回全日本社会人ホッケー選手権大会が行われた。コカ・コーラウエストレッドスパークスは準々決勝、福井クラブ戦からのスタート。

試合は終始レッドスパークスのペースだった。試合開始2分で新井麻月選手が点を決めると、パスをまわしながらテンポをつくり、前半10分には加藤彰子選手が2点目を決めた。その後もゴールラッシュが続き、前半を7-0で折り返した。

後半に入っても勢いがとまらない。右サイドから西村綾加選手がクロスボールを放つと、新井麻月選手がゴール前でうまく合わせてタッチシュート。そしてPC(ペナルティーコーナー)からもチャンスを作り、追加点を決める。そして後半に5点を追加したレッドスパークスは12-0で試合を終え、翌日の準決勝に進んだ。

喜ぶレッドスパークスの選手たち



ボールキープする朴善美選手



サイドから攻撃を仕掛ける笠原佳乃選手

準決勝の相手はグラクソ・スミスクライン。レッドスパークスのセンターパスにより試合が始まると、序盤から激しい攻防が続き、両者とも一步も譲らない試合展開となった。前半3分にこの試合初めてのPCのチャンスを得るが、得点することができず、前半を0-0で終えた。

後半に入っても両者一步も譲らない戦いをしていたが、10分にPCを獲得。これを小野真由美選手がシュート、こぼれ球を新井麻月選手がきれいに合わせ待望の先取点を奪った。後半23分にもPCを獲得し、新井麻月選手がゴール。2対0とすると、続けて24分には左サイドから湯田葉月選手がシュートを決め、3対0とリードを広げこのまま試合は終了。レッドスパークスが決勝への切符をつかんだ。

決勝戦の対戦相手は南都銀行。両チームスピード溢れる展開の中、7分にレッドスパークスがPCを獲得。1度は相手GKの好セーブにはばかれるが、はじいたボールを西村綾加選手がシュート。先制点を挙げる。続く13分、再びPCを獲得し、ヤナ選手が力強いシュートを決め2-0で前半を折り返した。

後半に入り互いに一步も譲らず、緊迫した試合が続く。南都銀行はスピードを活かしたドリブルでレッドスパークス陣内へ攻め込むが、徹底した守備で対応する。その中、後半19分に加藤彰子選手が華麗なタッチシュートを決め会場を盛り上げる。続く後半25分、新井麻月選手がサークル内の混戦した中こぼれ球を押し込みシュート。4-0と突き放す。このまま試合が終了し、4-0でレッドスパークスが勝利。見事2年ぶり3度目の快挙を成し遂げた。

マエケン リーグトップ 8 勝目



オールスター戦敢闘選手賞の前田健太選手

7/4(金)ヤクルト戦、広島は投打がかみ合った。2 回に廣瀬純選手の犠飛と倉義和選手の適時打で 2 点を先制すると、3 回には丸佳浩選手とエルドレッド選手が連続ソロ、5 回はエルドレッド選手の 28 号 3 ランで突き放した。この勝利により前田健太選手は 7 回 1 失点でリーグトップに並ぶ 8 勝目を手にした。先日発表された日本代表メンバーにも選出され、今勢いにのっている。

また、梅雨のこの時期、雨天ノーゲームとなることは仕方ないことだ。しかしそんな中、マツダスタジアムに新たな名物が誕生した。中東直己選手とロサリオ選手による AKB48 のパフォーマンスだ。試合がノーゲームになり行われたパフォーマンス。ファンにとっては雨の日の観戦が今までよりも楽しみになるのではないかな。

オールスターゲーム カープ選手大活躍！

7/18(金)、19(土)今年も「プロ野球 マツダオールスタゲーム」が開催された。今年はファン投票でカープから前田健太選手、一岡竜司選手、ミコライオ選手、キラ選手、菊池涼介選手、堂林翔太選手、丸佳浩選手、エルドレッド選手が選ばれ、球団史上最多の 8 選手が出場することになった。

MVP のエルドレッド選手



安打を打つ丸佳浩選手



第 1 戦は西武ドームで行われた。ファン投票を重視したいというセ・リーグ原監督の意向のもと、先発 9 人中 6 名がカープ選手。先発のマウンドを託された前田健太選手は 3 回無失点と見事に役目を果たし、敢闘選手賞を獲得した。堂林翔太選手は 3 打数 2 安打。丸佳浩選手と菊池涼介選手も安打を打ち会場を盛り上げ、セ・リーグの勝利に貢献した。そしてこの日の MVP は、4 打数 2 安打でホームランも放ったエルドレッド選手が獲得した。甲子園で行われた第 2 戦では、堂林翔太選手がホームランを放ち、一岡竜司選手とミコライオ選手が安定した投球を見せてくれた。

2 日間を通じて大活躍だったカープ選手。このままの勢いでリーグ戦も優勝を目指し勝利してもらいたい。

第 1 戦 7/18(金) 西武ドーム
最優秀選手賞 エルドレッド選手
敢闘選手賞 前田健太選手

6/26~7/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

7/1 カープ● 7-8 ○巨人

7/2 カープ○ 4-3 ●巨人

7/3 雨天中止

7/4 カープ○ 7-1 ●ヤクルト

7/5 カープ● 3-4 ○ヤクルト

7/6 雨天中止

サンフレッチェ広島

▽リーグ戦

7/15 サンフレッチェ広島● 1-2 ○横浜・F・マリノス

7/23 サンフレッチェ広島○ 5-2 ●柏レイソル

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

メイプル、ワクナガ 共に悔しい結果に

7/2(水)～7/6(日)の5日間、愛知県名古屋市で、第4回全日本社会人ハンドボール選手権大会、高松宮杯が開催された。結果は下記の通り。

《女子予選トーナメント》 広島メイプルレッズ 24 (14-8, 10-11) 19 香川銀行 T.H

《女子決勝リーグ》 広島メイプルレッズ 25 (12-10, 13-15) 25 北國銀行

広島メイプルレッズ 26 (13-10, 13-16) 26 ソニー

広島メイプルレッズ 24 (13-11, 11-14) 25 オムロン

結果 3位：広島メイプルレッズ

ベストセブン：宋海林選手・松村杏里選手 最優秀新人賞：松村杏里選手

《男子予選トーナメント》

男子1回戦 湧永製薬 40 (19-11, 21-10) 21 HC 岐阜

男子2回戦 トヨタ車体 32 (15-10, 17-13) 23 湧永製薬

男子5-8位決定戦 大同特殊鋼 39 (14-15, 25-15) 30 湧永製薬

男子7-8位決定戦 湧永製薬 38 (16-20, 22-15) 35 トヨタ紡織九州レッドトルネード

結果：湧永製薬 7位



シュートを打つ村松杏里選手

Photo : T Makino

今大会は両チームにとって悔しい結果となってしまったが、この悔しさを10月から始まる日本ハンドボールリーグにぶつけ、優勝目指して戦ってほしい。

士別ハーフマラソン大会 成長に期待

7/20(日)に北海道士別市で開催された第28回士別ハーフマラソン大会に中国電力陸上競技部から7名の選手が出場した。

日差しが強く、非常に暑さを感じる中、スタートを迎えた。9時30分のスタート後、気温がグングンと上昇し、選手にとっては厳しいコンディションとなり、中間地点では先頭集団が10名程度に絞られた。15キロ地点まで森本卓司選手と清谷匠選手が先頭に食らいつくものの、その後のペースアップに対応することができず、森本卓司選手が粘って先頭から50秒差の4位、清谷匠選手はペースを落とし11位でのゴールとなった。

これからは秋と冬の大会に向けて、厳しい夏のトレーニングが始まる。駅伝やマラソンに向けて多くの選手の成長に期待したい。

5発大勝！攻撃陣爆発 3連覇に向け全力！

ドリブル突破する柏好文選手



シュートを打つ皆川佑介選手



7/23(水) J1 第16節 柏レイソル戦が行われた。試合開始早々の前半11分に先制点を決められる苦しい展開。前半22分に佐藤寿人選手が同点ゴール。31分には高萩洋次郎選手が勝ち越しゴールを奪い、前半を2-1で折り返したが、後半10分にレイソルの狩野選手にゴールを許し、試合は振り出しに。リーグ戦再開から落ち着かない守備。直前2試合の悪夢が頭をよぎったが、選手たちはその不安を攻撃力で払拭してみせた。後半16分に柏好文選手が移籍後初ゴールを決めると、後半26分に皆川佑介選手がリーグ戦初ゴール。後半45分には森崎浩司選手もゴールを決め、終わってみれば5-2の大勝。5得点すべて異なる選手が決めたところに、サンフレッチェの復調が伺える。特に新加入選手、病気から復帰した選手がゴールを決めたことは今後の戦いにおける明るい材料だ。蒸し暑い夜だったが、平日にもかかわらず駆けつけたサポーターにとっては大きな勝利だっただろう。

次節は7/27(日)のヴァンフォーレ甲府戦。柏戦の勢いそのままに勝利し、3連覇目指して一丸となって全力で闘ってほしい。